

前略

九月六日未明に発生しました北海道胆振東部地震の被災地（厚真町、むかわ町、安平町、日高町旧門別町地域等）における「音楽による心の復興コンサート」の開催経費の一部に充てていただきたく、九月二十二日に開催されました第十二回日本プロオーケストラファンクラブ協議会総会札幌総会に参加された全国の会員の方々が義援金を募り、そこに集まった「金八万六千四十五円」を寄付させていただきます。

平成三十年十月十三日

札幌くらぶ

会長 上田 文雄

札幌交響楽団

理事長 村田 正敏 様

前略

九月六日未明に発生しました北海道胆振東部地震の被災地（厚真町、むかわ町、安平町、日高町旧門別町地域等）における「音楽による心の復興コンサート」の開催経費の一部に充てていただきたく、九月二十二日に開催されました第十二回日本プロオーケストラファンクラブ協議会総会札幌総会に参加された仙台フィルハーモニークラブから義援金「金一万一千十円」をいただきましたので寄付させていただきます。

平成三十年十一月八日

札幌くらぶ

会長 上田 文雄

札幌交響楽団

理事長 村田 正敏 様

前略

九月六日未明に発生しました北海道胆振東部地震の被災地（厚真町、むかわ町、安平町、日高町旧門別町地域等）における「音楽による心の復興コンサート」の開催経費の一部に充てていただきたく、九月二十二日に開催されました第十二回日本プロオーケストラファンクラブ協議会総会札幌総会に参加された群響ファンズ（群響を応援する県民の会）から支援金「金三万九円」をいただきましたので寄付させていただきます。

平成三十年十二月五日

札幌くらぶ

会長 上田 文雄

札幌交響楽団

理事長 村田 正敏 様

2018年10月25日札幌交響楽団HPに掲載

ブログ記事「北海道胆振東部地震の各避難所の皆さまに音楽をお届けしています」のプレビュー

[ブログ記事の保存](#) [ブログ記事の再編集](#)



札幌トップ Kitaraへのアクセス お問い合わせ リンク English
コンサートとチケット スケジュール 札幌について 教育・福祉・地域活動 ご支援のお願い

ニュース

札幌からのお知らせ

すべてのお知らせ

月別エントリー

2018.10.25

北海道胆振東部地震の各避難所の皆さまに音楽をお届けしています

[Tweet](#) [Share](#)

札幌交響楽団では、北海道胆振東部地震の各避難所の皆さまに音楽をお届けする活動をしています。10月21日には、札幌コンサートマスターの大平まゆみが安平町早来町民センターを訪問し、同町の避難所でミニコンサートを行い、被災された方やご関係の皆さまに音楽をお楽しみいただくひとときをお届けしました。

今後、厚真町、安平町追分地区、むかわ町を訪問する予定です。

また、活動には、日本プロオーケストラファンクラブ協議会札幌総会から開催経費の一部をご負担いただきました。心より御礼申し上げます。



[記事一覧に戻る](#) [次の記事](#)

ピックアップ情報



2018年12月15日(土) 14:00~
2018年12月16日(日) 14:00~
札幌の第9
会場: 札幌コンサートホールKitara



2018年10月26日(金) 19:00~
2018年10月27日(土) 14:00~
第613回定期演奏会
会場: 札幌コンサートホールKitara



2018年10月24日(水)
札幌交響楽団 2019年版カレンダー販売中
毎年ご好評いただいている「札幌カレンダー」の2019年版が発売されました。1...

最新情報



北海道胆振東部地震義援金について

2018年9月6日未明に北海道胆振東部の厚真町を震源とするマグニチュード7強の地震が発生しました。

震源地の厚真町では山麓が大規模に崩落、地滑りが発生し、35名の尊い命が失われ、隣接するむかわ町、安平町、日高町でも家屋の倒壊など甚大な被害をもたらした。札幌市と北広島市でも住宅地や幹線道路の埋め立てされた地盤で液状化現象が発生し、住宅の損壊や道路の陥没など大きな被害をもたらしました。

この地震の影響で札幌コンサートホール・キタラは被害が出なかったものの、地震後の点検作業に1週間を要し、札幌交響楽団（札幌）では名曲シリーズと他の演奏会1件、2件が公演中止となった。

9月22日（土）に開催された日本プロオーケストラファンクラブ協議会（JOF C）の札幌総会では、総会前に開催された役員会・幹事会において群響ファンの提案で被災地での復興支援コンサートの開催費の一部に充ててもらおうと義援金の募集が提案され、総会で承認を得て交流会で募金、そのほかに各クラブは帰郷後にそれぞれで検討し独自に募金し、札幌くらぶを通じて同趣旨で札幌に寄付することとしました。

募金は、交流会で86,045円、仙台フィルハーモニークラブから11,010円、群響ファンクラブから30,009円、計126,064円を仮称「音楽による心の復興コンサート」など復興支援コンサートの開催費の一部に充ててくださいと札幌に寄付しました。

札幌では、義援金を安平町早来地区・追分地区、厚真町、鷗川町の4地区で復興支援コンサート、苫小牧公演に3町から300名を招待などの事業費の一部に充てました、との報告を札幌から受けました。また、コンサート開催にあたっては、「JOF Cなどの支援を受けている」などの掲示をしていただきました。

2019年9月15日、厚真公演の開催にあたって、公演のプログラムに「本日の被災地復興支援公演の開催に向けて、「札幌くらぶ」様を通じ、「日本プロオーケストラファンクラブ協議会（JOF C）」様、ならびに「仙台フィルハーモニークラブ」様、「群響ファンズ」様から義支援を賜りました。」と記載されました。（下に掲載のプログラム参照）

北海道胆振東部地震の被災地でのコンサート 報告書

「音楽による心の復興コンサート」

2018.11.12 作成
(公財) 札幌交響楽団

開催日時／会場／来場者数

2018年10月21日(日) 18:30～19:00 安平町早来町民センター 約60名
2018年10月28日(日) 11:00～11:30 厚真町総合福祉センター 約30名
2018年11月4日(日) 13:00～13:30 安平町追分公民会 31名
2018年11月4日(日) 16:00～16:30 むかわ町むかわ四季の館 27名

出演者

大平まゆみ(札幌交響楽団コンサートマスター)

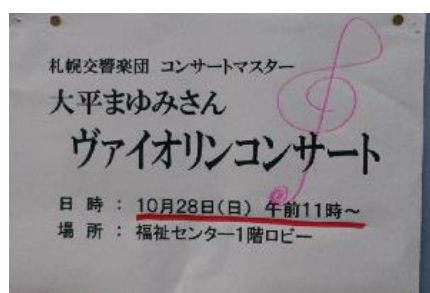
演奏曲目

エルガー／愛の挨拶
ヴィヴァルディ／四季から春・冬
日本の歌曲 など

各会場で札幌交響楽団コンサートマスター大平まゆみが演奏活動を行った。来場者の大多数が地震から避難された方であり、来場者の年齢、表情などを見ながら、トークを交えて「心が少しでも明るくなるように」の願いを込めた30分であった。



早来町民センターでの演奏とトーク



厚真町での掲示



追分公民館（入口に掲示）



追分公民館



むかわ四季の館

北海道胆振東部地震被災地復興支援

札幌交響楽団 厚真公演

2019年9/15日 15:00開演

厚真スポーツセンター

指揮 **松本 宗利音**
Shurihito Matsumoto, conductor
シューリヒト
(札幌指揮者)

管弦楽 **札幌交響楽団**
Sapporo Symphony Orchestra

コンサートマスター **大平 まゆみ**
Mayumi Ohira, concertmaster



主催 北海道新聞社 札幌交響楽団
共催 厚真町教育委員会



Program プログラム

— 第1部 —

J.S. バッハ

G線上のアリア (約4分)

シベリウス

「カレリア」組曲 (約15分)

第1曲 間奏曲

第2曲 バラード

第3曲 行進曲風に

シベリウス

交響詩「フィンランディア」 (約8分)

— 休憩15分 —

— 第2部 —

ベートーヴェン

交響曲第7番イ長調 (約40分)

第1楽章 ポコ・ソステヌートーヴィヴァーチェ

第2楽章 アレグレット

第3楽章 スケルツォ；プレスト

第4楽章 アレグロ・コン・ブリオ

※スマートフォン、携帯電話、アラームなどは電源をお切りください。
※許可なく録音、録画、写真撮影を行うことは禁止しております。

本日の被災地復興支援公演の開催に向けて、「札幌くらぶ」様を通じ、「日本プロオーケストラファンクラブ協議会(JOFC)」様、ならびに「仙台フィルハーモニークラブ」様、「群響ファンズ」様からご支援を賜りました。

Profile プロフィール



指揮 シューリヒト **松本宗利音 (札幌指揮者)** Shurihito Matsumoto, conductor

1993年大阪府出身。京都堀川音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。卒業時にアカンサス賞を受賞。

幼少時より音楽、特にヴァイオリンに親しみ、相愛音楽教室、センチュリー・ユースオーケストラに所属した。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和の各氏に師事。また、在学中にダグラス・ボストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講する。ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の両氏に師事。

これまでに大阪交響楽団、山形交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に客演。2017年4月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員を2年間務めた。2018年7月に札幌交響楽団とベートーヴェンの交響曲第2番で初共演。絶賛を得て2019年4月、25歳の若さにして札幌交響楽団の指揮者に就任した。

Program Note 曲目解説

J.S.バッハ (1685~1750) / G線上のアリア

ヨハン・ゼバスティアン・バッハは18世紀に活躍した作曲家・オルガニストで、後世の音楽に大きな影響を残しました。あらゆるジャンルの音楽を作曲し、今日でもなお様々な音楽に応用され、演奏し続けられています。G線上のアリアは、バッハが作曲した「管弦楽組曲第3番」の第2曲「アリア」のことで、19世紀末に活躍したヴァイオリニストのウィルヘルムが、ヴァイオリンの最低音の弦、G線のみで演奏できるように編曲したことから付けられた通称です。弦楽合奏で演奏され、ゆっくりと歩みを進めるかのような低弦と、ヴァイオリン、ヴィオラが奏でる上品でポリフォニックな響きが魅力の小品です。

シベリウス (1865~1957) / 「カレリア」組曲

カレリアとは、フィンランドとロシアの国境にまたがる地域の名称です。フィンランドの作曲家シベリウスがこの曲を作曲した当時、この地はフィンランドの領土で、歴史と伝承文化の宝庫である重要な地域でした。シベリウスはカレリア地方に滞在したおりに、フィンランドの伝承文化の数々を土地の人々の口から伝説や詩歌として聞き、また歴史的遺産や民芸品などに接し、フィンランドの歴史や民族について沢山の事を学びます。そして1983年にカレリア地方の首都ヴィボリの学生協会から、この地方の13世紀から19世紀までの歴史を7つの場面で描いた野外劇のための音楽を依頼され、作曲しました。

これを後に組曲に編集したのが「カレリア組曲」です。組曲は「間奏曲」「バラード」「行進曲風」の3曲で構成されています。

シベリウス (1865~1957) / 交響詩「フィンランディア」

19世紀末、フィンランドは帝政ロシアの圧制下にあり、民衆による独立運動が盛んに行われていました。その運動の一環として1899年に制作された民族歴史劇の音楽をシベリウスが担当し、劇のクライマックスに演奏された「フィンランドは目覚める」が、のちに改作され「フィンランディア」となりました。フィンランドの民衆の苦難と悲嘆、闘争と勝利への希望などがいきいきと描写されます。中間部に大変美しい旋律が表れますが、この旋律は後に歌詞をつけられ、現在ではフィンランド第2の国歌として愛唱されています。

ベートーヴェン (1770~1827) / 交響曲第7番イ長調

ドイツの作曲家ベートーヴェンは、後世の音楽家に与えた影響が大きいことから、日本では「楽聖」とも呼ばれています。本日演奏の交響曲第7番が完成した1812年、ベートーヴェンは42歳になっておりました。交響曲第6番「田園」の完成から4年が経過しており、円熟の境地で作られた1曲と言ってよいでしょう。アイルランドやオーストリア、ハンガリーなどの古い民族舞曲からの引用を随所に盛り込み、全編にわたってリズムと豊かな生命力が満ち溢れた作品です。